

新潟農業・バイオ専門学校

自己評価報告書

(平成30年度)

新潟農業・バイオ専門学校 平成30年度 学校内部自己評価

令和元年5月24日実施 学校内部評価委員会

評価指標: 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1		自己評価 (H29)	自己評価 (H30)
1. 教育理念・目標	1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
	2. 学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4	4
	3. 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	3	3
	4. 学校の理念・目的・育成人材像は、特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3	3

◆ 外部評価委員からの意見

- ①学校の理念、目的、育成人材像は、学生や教職員に浸透し、それにあつた活動が行われている。
②稲刈りイベントで農業経営科女子学生が、率先して落穂を拾う行動をしていた。このような学生を育てて行ってほしい。

◆ 今後の改善施策

- ①「校訓」は教育の柱として学生に定期的に伝え、行動の実践を促している。
②校訓に基づく行動の実践が、校の伝統となるよう習慣化を目指したい。

◆ 特記事項

特になし

		自己評価 (H29)	自己評価 (H30)
2. 学校運営	5. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
	6. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
	7. 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4
	8. 人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	4
	9. 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3
	10. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4

◆ 外部評価委員からの意見

- ①実習先への情報提供（学生が実習を通じて何を学びたいか等）をお願いしたい。実習内容を事前にコンセンサスを得る仕組みが必要である。

◆ 今後の改善施策

- ①農業経営科の農業経営体派遣実習では、実習前挨拶と実習内容の確認のために事前訪問を実施する。

◆ 特記事項

		自己評価 (H29)	自己評価 (H30)
3. 教育活動	11. 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4	4
	12. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	13. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3
	14. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4	4
	15. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	16. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
	17. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
	18. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	3	3
	19. 関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4
	20. 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4
	21. 職員の能力開発のための研修などが行われているか	3	3

◆ 外部評価委員からの意見

- ① 前回委員会での回答の通り卒業研究を実施したことを評価したい。
- ② 水稲栽培実習の回数を1回増やしたことで、内容が充実したと感じている。
- ③ 模擬会社「食娯楽」の活動開始は評価したい。活動で得たアイデアを社会で活かせるようにしてほしい。
- ④ 留学生は一生懸命質問をしていて好感が持てる。日本人も質問が多く熱心であるが、若干大人しいと感じている。
- ⑤ 園芸デザイン科がコース別に分かれるが、フラワー、造園両方が学べる仕組みは継続してほしい。

◆ 今後の改善施策

- ① 平成29年度は卒業研究発表会を校全体として実施する。学生自ら課題を決め、研究や調査に取り組み、その成果を発表する機会を恒例化したい。
- ② 学生の水稲栽培への理解も増し、講義科目「作物栽培学」の平均点も高くなった。今後も実習先との連携を維持継続したい。
- ③ 「食娯楽」は新潟伊勢丹など企業からも活動のオファーをいただいている。今後も活動を拡大させたい。
- ④ 元気の良さも人物評価の一つであることを学生に伝え、挨拶も含めたマナー指導を実施したい。
- ⑤ フラワー、ガーデン両方の知識を学ぶことへの意義と、それを業界が求めていることは十分認識している。今後も継続したいと考えている。

◆ 特記事項

		自己評価 (H29)	自己評価 (H30)
4. 学修成果	22. 就職率の向上が図られているか	4	4
	23. 資格取得率の向上が図られているか	4	3
	24. 退学率の低減が図られているか	4	4
	25. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3

◆外部評価委員からの意見

①資格取得対策は、基礎学力向上も必要。そのような取り組みをすべき。

◆今後の改善施策

①平成30年度は計算力を中心とした基礎学力向上の授業「学びの根」を実施した。合格率向上に向け、検定前2週間は集中対策学習を实践する。

◆特記事項

		自己評価 (H29)	自己評価 (H30)
5. 学生支援	26. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	27. 学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	28. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
	29. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	30. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
	31. 学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	32. 保護者と適切に連携しているか	3	3
	33. 卒業生への支援体制はあるか	3	3
	34. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

①学校のホームページは充実しているが、保護者向けの情報提供もさらに充実させる必要があると感じている。

◆今後の改善施策

①保護者への情報提供として、年3回の保護者会の実施、年4回の教務部だよりの郵送を行っているが、保護者アンケートでは連携不足と指摘している点も多い。希望者向けのメール情報発信等、新たな情報提供も検討したい。

◆特記事項

		自己評価 (H29)	自己評価 (H30)
6. 教育環境	35. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	3
	36. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
	37. 防災に対する体制は整備されているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

①アグリパークを多くの側面での学びに活用してほしい。こちらも圃場作業以外に畜舎作業、直売所での販売実習、小学校農業体験の補助なども提供したい。

◆今後の改善施策

①農業が食、環境とつながっていることを伝えるための施設としてアグリパークは学校としても活用したいと考えている。

◆特記事項

		自己評価 (H29)	自己評価 (H30)
7. 学生の受入れ状況	38. 高等学校等接続する機関に対する情報提供の取り組みが行われているか	4	4
	39. 学生募集活動は適正に行われているか	4	4
	40. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	4
	41. 学生納付金は妥当なものとなっているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

特になし

◆今後の改善施策

高校生や留学生といった入学希望者へ、適正な学生募集活動、学校の情報提供を今後も継続する。

◆特記事項

8. 財務	42. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
	43. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
	44. 財務について会計監査が適正に行われているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

特になし

◆今後の改善施策

現在の施策を維持する

◆特記事項

①学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている。

		自己評価 (H29)	自己評価 (H30)
9. 法令等の遵守	45. 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	46. 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	47. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

特になし

◆今後の改善施策

①迅速な情報公開の実現を図る。
②教育課程編成委員会や学校関係者向けアンケートにより明確となった問題点は教職員で共有し、対策を検討する機会を設けている。

◆特記事項

		自己評価 (H29)	自己評価 (H30)
10. 社会貢献・地域貢献	48. 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	49. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
	50. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	4

◆外部評価委員からの意見

①新潟市、新潟県、近隣小学校、地域NPO法人などとの連携が図られている。ABiO祭の実施により、近隣住民との交流を積極的に行っている点は評価できる。新潟の地域活性のために若者の教育に努めてほしい。

◆今後の改善施策

①校訓の一つに他者、地域社会との交流を積極的に行うこととして「調和」を掲げている。学生の地域ボランティア活動への参加は必須としている。地域社会の貢献により学び得ることが多い。今後も推奨して行きたい。

◆特記事項